



共に。

一般社団法人
北海道建築士事務所協会

『PCAクラウド』で道内 20カ所の
本部・支部をネットワーク化。
連結決算・消費税集計の迅速化も実現

一般社団法人 北海道建築士事務所協会

広大な北海道内に本部を含め 20 カ所の拠点を持つ一般社団法人 北海道建築士事務所協会。数百キロも離れた各支部の会計処理をスムーズに行うため導入されたのが『PCA クラウド』による『PCA 公益法人会計 V.10』だ。平成 20 年の公益法人会計基準変更については、前もって慎重に準備を進めていた同協会だが、新たに導入したクラウドの利便性は想像以上に大きかったと語る。クラウドがもたらした業務の効率化や安心感、そして『PCA 公益法人会計 V.10』ならではの業務の便利さなどを伺った。

導入システム

・ PCA 公益法人会計 V.10 for SaaS (同時 20CAL)

導入の狙い

- ・各支部が単独で会計処理を行っており、連結決算時の処理に時間がかかる。
- ・独自サーバーによるネットワーク化はコストがかかる。
- ・会計に詳しくない人が会計処理を行うこともあり、ミスなども起こりやすい。
- ・消費税集計に時間がかかる。

導入効果

- ・『PCA クラウド』によって計 20 カ所の本支部をネットワーク化。連結決算時の処理を効率化。
- ・『PCA クラウド』は初期費用がほとんどかからない。
- ・本部と支部がリアルタイムで情報共有できるため、ミスの発見・修正も速い。支部の inputs を本部で行うことも可能。
- ・『PCA 公益法人会計 V.10』の消費税集計では課税・非課税の確認が自動的にでき、事業ごとや単独あるいは合算での集計も取りやすい。

プロフィール

一般社団法人 北海道建築士事務所協会

□所在地：

【本部 / 札幌支部】：〒060-0042

札幌市中央区大通西 5 丁目 11 大五ビル 6 階

【全道 19 支部】：札幌、函館、桧山、後志、小樽、空知、旭川、
名寄、留萌、宗谷、網走、北見、紋別、室蘭、
苫小牧、日高、十勝、釧路、根室

□職員数：本部 6 名 / 19 支部 42 名

□設立：昭和 27 年

□URL：http://www.do-kjk.or.jp/

【法定団体の役割】

一般社団法人北海道建築士事務所協会は平成 21 年 1 月 5 日に建築士法第 27 条の 2 に規定する法人として法定化され、法定団体として建築士事務所の業務の適正な運営と建築士事務所に設計等を委託する建築主の利益の保護を図ることを目的とした役割、責任を担っております。

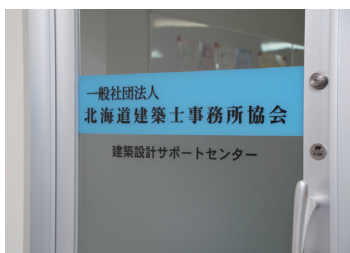
【一般社団法人 北海道建築士事務所協会の活動】

- 建築士事務所の管理建築士講習の実施
- 建築士事務所の所属建築士定期講習の実施
- 住宅金融支援機構「適合証明技術者業務講習」の実施
- 各種講習会・セミナー・見学会の実施
- 耐震診断等評価業務
- 建築相談調査会業務
- 12 条定期報告の受付業務
- 会員への情報提供
- 会誌の発行
- 北の住まい住宅設計コンペの実施
- 行政機関との協議
- 会員親睦行事の実施
- 仕様書類の販売
- 協会へのお誘い

※ 2012年 10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。



一般社団法人
北海道建築士事務所協会
本部事務局 総務課長
宇賀谷 潔 氏



本部事務局／札幌支部にて

導入前の運用と課題

○各支部による単独の会計処理

昭和 27 年に設立された一般社団法人 北海道建築士事務所協会では、設立時から平成 12 年まで手書きによる会計を行ってきた。平成 12 年に『PCA 公益法人会計 EX-V』を導入。各支部を含めたすべての拠点で『PCA 公益法人会計 EX-V』を使用し、毎日の収支計算や伝票入力などの会計業務を行ってきたが、連結決算に関しては手計算のままだった。

「以前は各支部に『PCA 公益法人会計 EX-V』を導入し、それぞれの拠点がスタンドアロンで会計処理を行い、連結だけは本部でまとめて処理していました。しかしこの連結作業が課題で、各支部から決算書が送られてくるのですが、それを Excel® データにし科目ごとに集計を出すため手間と時間がかかっていました。また、北海道内の主な市に 19 ケ所の支部を抱えており、専用の事務局がある支部、自社建築士事務所と支部の事務局と兼務している支部があり、会計処理の方法等が充分理解されていない等、連結決算作成時には若干の問題がありました」（総務課長 宇賀谷 潔氏）

そこで PCA の担当者に相談したところ、各支部をネットワークで繋いで会計処理を行う方法を提案されたという。ただし独自でサーバーを設置した場合は維持費がかかる。5 年程度使用すると買い替えも検討しなければならず、管理者も必要になって

くる。そこで『PCA クラウド』を紹介され、その便利さに興味を持ったそう。折しも平成 20 年の公益法人会計基準の変更もあり、新会計基準への対応もかねて平成 23 年 1 月に『PCA 公益法人会計 V.10』を導入。『PCA クラウド』によって本部と全支部を繋いだ。

導入後の効果

○数百キロ離れた支部をクラウドで繋ぐ

『PCA クラウド』の導入によって、大きな負担となっていた連結作業は大幅に効率化できた。「まず手書きの作業がなくなった点はとても意味があります。連結業務にかかる時間がかなり短縮し、科目についても本部・全支部ともすべて同じ設定になっているため間違えようがありません」

クラウド利用のメリットは他にもあるという。「情報を共有できるため、支部の入力内容に不明点があれば、本部から支部に確認の連絡をすぐに入れることができます。この支部は仕訳をまだやっていないなどのチェックや各支部の残高も、数百キロ離れた札幌の本部から確認できます。支部で行う入力を本部でもできるので、経理に詳しくない人が入力する場合などは本部のスタッフが助けることも可能です。これらは以前ならできなかったことで、クラウドを導入したからこそ可能な業務です」

○消費税集計の迅速化

す。以前はこれらを手作業で確認するしかなかったのですが、今は自動的に確認できます。消費税集計が迅速化できたことも、今回のシステム導入の大きなメリットですね！

支部から寄せられる質問として、按分の仕方を問われることが多いそうだ。『PCA 公益法人 V.10』では按分率をあらかじめ登録しておくことができ、そのため配賦入力もしやすい。

【建築相談・調査業務】
皆様の快適な暮らしを支援するため、建
築の相談・調査を行っています。

『PCA クラウド』によって、同協会では本部を含め 20 カ所の拠点から同時接続・同時入力が可能になった。約 2 年間クラウドを利用してきて、スピードなどに一切不満はなく、ストレスフリーに利用できていると語る。「回線状況に関しては問題ありま

平成 23 年 1 月
からクラウドへ
全面移行

- 当初の問題であった連結決算の処理を、
迅速かつ正確に行えるようになった。

PCAクラウド

十勝支部

函館支部



一般社団法人
北海道建築士事務所協会 HP
<http://www.do-kjk.or.jp/>

せん。処理スピードも速いですし、システムがダウンしたこともありません。非常に安定した環境の中で利用しています。実はクラウドの導入を検討したときに、道内の支部の一部がまだ ADSL 回線でした。そこで販売店さんが頑張ってくださって、全支部が光回線の状態でクラウドを導入することができました。先ほども申しましたが、単独で会計処理を行っていた時は各財務諸表の集計に相当時間を費やしていましたが、クラウドによって瞬時に、かつ正確に出力できるのは助かります」

このようにクラウドによる会計業務の効率化によって、同協会では会計業務に携わる本部スタッフは 1 名だ。「アクセスの権限は細かく設定しており、セキュリティの点でも不安はなく、1 名のスタッフで十分対応できています。スピーディーかつ少人数で処理ができるのも、クラウドの利点だと考えています」

への移行については、前もって時間をかけて準備しており、特に問題はありませんでした。そのため今回の新システム導入では、PCA の公益法人会計ソフトの新会計基準への対応力はもちろんですが、それ以上に各支部をネットワーク化したことの便利さの方がやはり大きなメリットだと感じています。総会での議案書は『PCA 公益法人会計 V.10』の帳票をそのまま使うこともあります。わざわざ Excel® で出し直さなくても、PCA の帳票類は見やすいのでそのまま利用できます」

同協会では、従来の業務に加えて建築士事務所の指定登録機関としての業務や、建築物の耐震診断判定業務等、業務量が拡大している現状であるが『PCA クラウド』そして『PCA 公益法人会計 V.10』の導入により環境は整い、問題なく対応ができています。

今後の課題と展望

○業務が増えても対応できる環境を確立

同協会では会計基準変更については、変更となる 1 年前から慎重に準備を進めてきたそうだ。そのため特に混乱もなく、スムーズに新会計基準に移行できたという。「新会計基準